

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	30-001		
PDCA	事務事業名	図書館一般事務	部課等名	教育部 図書館	担当 内線等	野不雄 会 23-7171	
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち					
		節： 第2節 生涯学習の推進					
		基本施策： 1. 生涯学習					
		単位施策： (4) 図書館の利用促進					
	根拠法令等	個別施策： ①子どもの読書活動推進					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	図書館法、半田市立図書館条例					
		誰もが快適に利用できる図書館をめざす。 子どもたちの読書活動を推進するとともに、ボランティアとの協働により、障がい者や高齢者を始めとする市民の図書館利用促進を図る。					
		目的を達成するための手段・活動内容 読み聞かせ会を始め、ボランティア団体と協働で行う「としょかんまつり」など、図書館に親しみを持ってもらえる多彩な事業を実施する。巡回文庫や小中学校等に司書を派遣し、子どもたちへの読み聞かせやブックトーク（テーマに沿って、本を司書が選び、紹介すること）を通じて図書館に親しみを持ってもらう。ボランティア養成講座の実施により、読書推進の担い手となる新たな人材確保を行う。					
成 果		活動実績					
		28年度 29年度 30年度 単位					
		①としょかんまつり参加者数 3,079 2,730 2,658 人					
		②郵送貸出実施点数 310 457 503 点					
		③介護保険施設等への貸出点数 1,860 2,000 2,020 点					
		事業費 6,728 5,985 5,675 千円					
		人件費 14,955 14,964 14,765 千円					
	総事業費 21,683 20,949 20,440 千円						
	活動単位当たりのコスト						
	28年度 29年度 30年度 単位						
C 課題の整理	観点別評価	必要性		有効性		効率性	
		①市の関与の妥当性 妥当		④上位施策への貢献 中程度		⑦コスト削減余地 ない	
		②市民ニーズ 高い		⑤成果向上の余地 ある			
		③休廃止の影響 大きい		⑥類似事業の有無 ない		⑧受益者負担適正化余地 ない	
	A 課題解決のための目標	今後の事業の方向性	改善推進				
			誰もが親しみを持って利用できる図書館をめざし、ボランティア団体と協働で行事を開催する。ボランティア養成講座を実施し、新たな読書推進の担い手の育成に努めるほか、高齢者、障がい者に向けたサービスのPRに努め、図書館資料の利用を促進する。 第2次半田市子ども読書活動推進計画（令和3年度～）を策定し、家庭・地域、保育・教育機関、図書館が連携して子どもたちの読書活動推進に向けた活動を進める。				
			成果指標				
			目標値 単位				
令和元年度の目標	①年間入館者数		目標値	388,000	人		
	②図書館事業参加者数		目標値	11,500	人		
	③		目標値				